

Fujitsu 映像収集・蓄積・配信 ソフトウェア Futureyell VideoCaster ProII V3

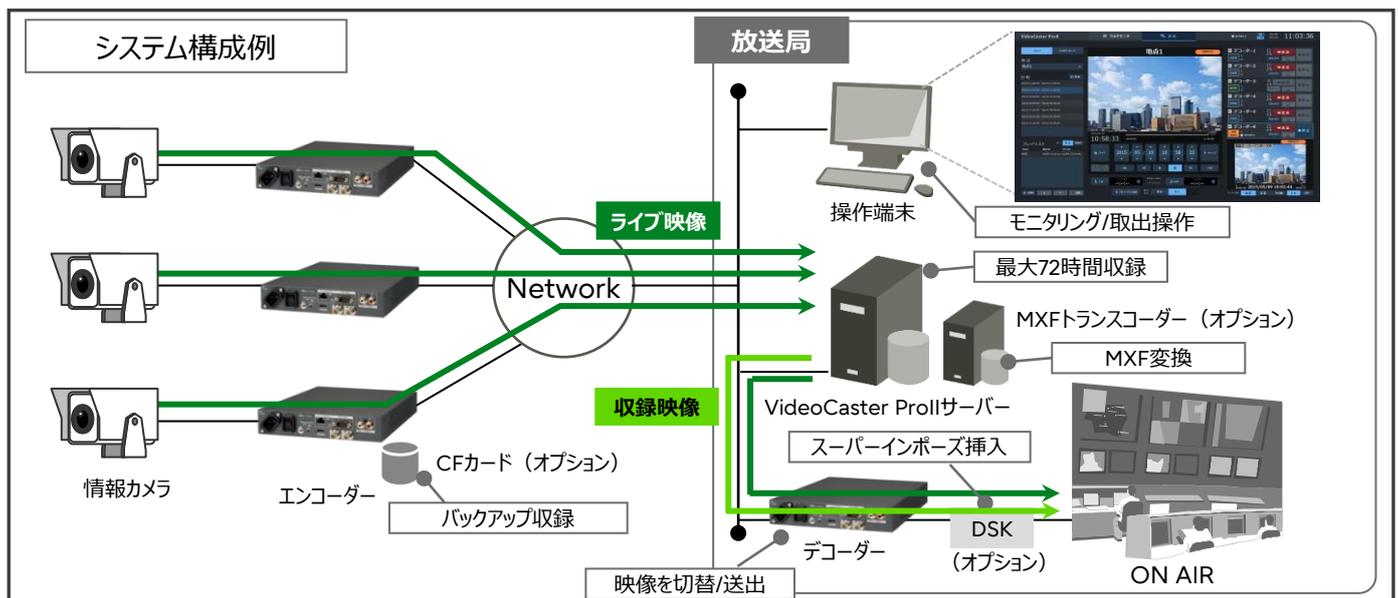


「Futureyell VideoCaster ProII」は、IPシリーズ（IP-900/IP-920/IP-9500）のスイッチングや、多地点同時モニタリング、収録・送出を行うための運用効率化ソフトウェアです。報道番組での即時オンエアなどに威力を発揮します。

特長

- 全地点の情報カメラの映像を本社側で最大72時間収録
情報カメラ地点毎のデコーダーやループバックレコーダの導入は不要です。
本社側で一元収録・映像管理することにより、煩雑なオペレーション負荷を軽減します。
最大16台のエンコーダー、6台のデコーダーを管理できます。
- 簡単操作で必要な映像を即時取り出し
地震や台風等の災害直前/直後の映像など、必要な映像を時刻指定で取り出すことができます。最短15秒前の映像を即時に取り出し、オンエアで活用することが可能です。また、マトリクススイッチャーのような簡単操作でエンコーダー/デコーダーのスイッチングや多地点同時モニタリングも可能です。
- プレイリスト送出やMXF出力、スーパーインポーズ重畳も可能
多地点の収録映像をつなぎ合わせたプレイリストを作成し、連続した映像として送出できます。
また、収録映像をMXFファイルとして出力し、直接ファイルベース素材として活用することも可能です。
白素材に地点名、タイムスタンプ、コメントなどのスーパーインポーズを重畳して送出、さらに、気象情報システムなどと連携し、災害地点映像の収録・送出の自動化も可能です。*1

※1: 気象情報システムとの連携については、個別カスタマイズとなりますのでお問い合わせください。



Fujitsu 映像収集・蓄積・配信ソフトウェア Futureyell VideoCaster ProII V3

主な機能

- マルチモニタ機能 多地点ライブ映像をプロキシ映像で一覧表示します。(4/9/16画面表示)
- IPスイッチング機能 マトリクススイッチャーのような簡単操作でエンコーダー/デコーダーをスイッチングできます。
- 収録/送出機能 収録映像をハイレゾ映像でプレビュー、時刻指定でデコーダーに送出します。
- プレイリスト出力機能 収録映像をつなぎ合わせたプレイリストを作成し、連続した映像として送出します。
- MXF出力機能※2 収録映像をMXFファイル(OP1a)で出力し、直接ファイルベース素材として活用可能です。
- エンコーダDL機能※3 メモリーカードに同録した映像をダウンロードし、同様の操作で送出します。
- スーパーインポーズ機能※4 白素材に地点名、タイムスタンプ、コメントなどを重畳して送出します。

※2: MXFトランスコーダおよびMXFオプションが必要です。 ※3: IPシリーズにCFカードが必要です。
※4: スーパーインポーズ (マイクロ電子製 MK-36) ならびにスーパー生成用PCが必要です。

画面例

マルチモニタ画面



収録/送出画面



商品体系

製品名	型名
Futureyell Video Caster ProII V3	A514C009

※MXFトランスコーダおよびMXFオプションについてはお問い合わせください

動作環境

	Futureyell VideoCaster ProII サーバ	クライアントPC
OS	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	Windows 7 Professional SP1 (32bit/64bit) Windows 8.1 Pro
必須ソフトウェア	Microsoft SQL Server 2014 Standard Edition	Windows Media Player 12
対応ブラウザ	Internet Explorer 11	
対応IPシリーズ ※対応バージョンはお問い合わせください	IP-900E, IP-920E IP-900D, IP-900IID, IP-920D IP-9500, IP-9500D※5	

●製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

※5 IP-9500Dを使用した場合は動作制限があります

富士通株式会社

お問合せ先：富士通コンタクトライン 0120-933-200

受付時間 9:00～12:00および13:00～17:30 (土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く)

2022年9月 第2版